



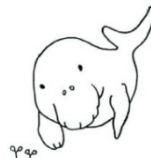
# ジュゴン Vol.109

## ちゃんぷるニュース

**SDCC 2020. 3. 24**  
Save the Dugong Campaign Center

### CONTENTS

- 2/3 ジュゴン訴訟審理に参加して  
● 控訴審争点要旨
- 4/5 ホープスポット認定セミナー  
● 6月 IUCN 会議へ向けて
- 6/7 わんさか通信★ジュゴンのわ  
● コラムー「大」の哲学
- 8 インフォメーション



辺野古の基地建設のことはだいぶ知られるようになったが、「ジュゴンって沖縄にいたんだ〜」「はじめて知りました〜」という方もまだまだ多い。ジュゴンのことを知ると「海を壊したらあかんわ、応援します」と言ってくれる人も多い。多くの人に知ってもらうための工夫の一部を紹介したい。

#### その1. 「ジュゴンでトレイン！」

毎年開催している「ジュゴンでトレイン！」は“ジュゴンを守ろう！”のプラカードを手にJR大阪環状線を1周まわるアクション。着ぐるみジュゴンや紅型着物で注目を集める。いくつかの駅で下車して駅前で「ジュゴンって知ってますか？」とマイクアピール。チラシの受け取りもいいし、署名もたくさん集まる。

## ジュゴンがつなぐ 平和を紡ぐ



#### その2. 「ジュゴンクイズ」

大阪自然誌フェスティバルなどの環境イベントでは、パネル展示のほか、『ジュゴンクイズ』を実施。ジュゴンが何を食べるか、寿命はどれぐらいかなどの質問に、子どもも大人も真剣に取り組んでくれる。“ジュゴン博士”になった人は、ジュゴンのファンに！

#### その3. 「ジュゴングッズ」

スタッフが手作りしているマスコット、エコバッグ、絵はがきなどのジュゴングッズは「かわいい〜♡」と大人気。友達に配るからとたくさん買ってくれる人もいる。じゅごん帽は、辺野古ゲート前や海上行動のほか、全国各地、ニューヨークやハワイでも活躍してくれている。ときどき、「じゅごん帽がほしい」と、つてをたどった方から連絡が入り、それで新しいつながりができたりもする。

ほかにも、じゅごん茶話会、街頭行動、出張授業、写真展・学習会などなど、色んなことをやるが、いつも楽しくやれているのはジュゴンのおかげ。ジュゴンが人と人をつないでくれる、自然を、命を守る大切さを教えてくれる。以前、名護市東海岸に住むおばあが「子どものころは、ジュゴンのことを人と同じように思っていた」と言っていた。沖縄で大切にされてきたジュゴン、私にとっても特別な存在だ。辺野古の海にジュゴンが戻り、ジュゴンと共に生きる未来を拓くために、みんなでちばりよ〜。

(関西 山根富貴子)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)

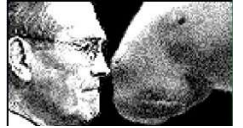


ジュゴン訴訟控訴審公開審理の行われたサンフランシスコ連邦裁判所前。左端はサラ弁護士。(2&3面)



フィリピンのピースキャンプで ABAKADA の皆さんとランチ。(6面)

# 海を越えた連帯 ～ジュゴン訴訟に参加して



## (はじめに)

2月3日、ジュゴン訴訟控訴審結審がサンフランシスコの第9巡回裁判所で開かれました。日本からジュゴン訴訟原告の東恩納琢磨名護市議、原告団体の日本環境法律家連盟事務局の三石朱美さんと私の3人が参加。環境裁判は書面審理が基本ですが、ジュゴン訴訟はその国際的重要性により、これまでも公開審理が開催されてきており、今回も公開審理が開催されたことは成果です。

## (初日はグロッキー、そして歓待)

2月1日、原告東恩納琢磨さんと東京羽田空港で合流。夕方発予定のユナイテッド航空が機材トラブルで出発できず、翌2日夕方に出発。到着したサンフランシスコでの入国審査で4時間半の行列。くたくたになりながらも、地下鉄バートでホテルへ。米国原告 CBD 代表ピーター・ガルビンさんから夕食招待のカード。イタリアンと赤ワインで、CBD メンバーとジュゴン研究家の Dr. エレン・ハインツさんとテーブルを囲む。沖縄ジュゴンの現状と、昨年9月の国際自然保護連合 (IUCN) 種の保存委員会来日、防衛省の3月大浦湾軟弱地盤改良工事の設計変更申請と工事強行の狙いなどについて話し合いました。

## (関心高まるジュゴン訴訟)

3日、第9巡回裁判所第1法廷は9時から開廷。傍聴席は50人。ジュゴン訴訟は午前中に審理される6件のうち5番目。ジュゴン訴訟が始まる前に、小学生15人が先生2人に引率されて、リザーブされていた傍聴席に。座れなかった支援者は、法廷内の椅子に座るなど関心の高さを示す。三人の判事を前に、原告控訴人のダニー・シーマン弁護士は「ジュゴンへの文化的影響について、国防総省の考慮の手続きは不十分」と批判。国防総省控訴人は「国家歴史保存法の考慮の手続きは国内規定であり、海外規定には詳細な規定はない。考慮の手続きに

は国防総省の裁量権が認められている」と反論（詳細は別項参照）。判決期日は未定で、判決文を書き終えた後に各弁護士に判決文が送られる。

## (海を越えた連帯)

11時30分審理を終えて裁判所を出ると、原告団体タートルアイランド回復ネットワークとウチナンチュー3世の上運天ウエスリーさんらの共催で裁判所前での集会。40人の輪の中に「US OUT OF OKINAWA」のポテッカーをぶら下げたジュゴンの着ぐるみ1頭。大きなドルフィンのアドバルーンや「STOP THE BASE CONSTRUCTION」「MIRITARISM = HABITAT DESTRUCTION」などのポテッカーも。ピーターCBD代表やダニー弁護士から裁判の報告。「昨年夏に辺野古のゲート前行動に参加した」と若い男性の発言など。東恩納琢磨さんは「支援の輪が沖縄、日本、世界へと広がった」「勝利の方程式は勝つまであきらめないこと」と力強く決意を語った。最後に三線の音や歌が集会全体に広がる。

## (今後の闘い)

政府防衛省は4月にも大浦湾軟弱地盤改良工事の設計変更申請を提出する。昨年9月技術検討会（委員長・旧運輸官僚出身）の発足や、2月環境監視等委員会での『環境に影響ない』のお墨付きは、軟弱地盤改良工事の強行を狙っている。公有水面埋め立て法第4条第1項2号に基づく承認処分が付された留意事項での事前協議は、処分庁県の指導に従うことが前提。市民とともに闘う沖縄県庁を、全国的な運動でつらなければなりません。IUCN がレッドリストで示した「なかでも沖縄島の辺野古周辺のジュゴン生息地における米軍基地の建設に伴う海草藻場の消滅が懸念される」を梃子に、米国CBDなどジュゴン訴訟を支援する団体と連帯して大浦湾軟弱地盤改良工事強行を阻止しましょう。（事務局 蛭川義章）



裁判所まえに集まった支援の仲間



ジュゴンが登場



# 「ジュゴン訴訟」公開審理について



2020年2月3日、ジュゴン訴訟の公開審理がサンフランシスコの第9巡回連邦控訴裁判所で開かれました。2018年8月の連邦地裁の判決を不服として原告が控訴し、2019年1月より書面のやり取りで審理が行われてきました。今回の公開審理は、日本の裁判の「結審」にあたり、早ければこの夏にも判決が下されると予想されます。

通常、控訴審では地裁の判決が維持されるか否かが審理されますが、今回の控訴審では国防総省より争点が追加され、二つの争点で審理が行われてきました。1) 国防総省が2014年4月まで行った辺野古新基地によるジュゴンの文化的価値への影響の検証（「考慮の手続き」）は妥当であり、基地の「影響はない」とする結論も妥当である、とする地裁の判決を不服とする原告からの争点。2) 裁判で使われている国家歴史保存法の402条は、ジュゴン／動物には適用できないとする国防総省からの争点です。

以下、公開審理における双方の主張と、裁判官との質疑応答を争点ごとに対比させる形で示します。双方の主張の違いはありますが、日本政府のずさんな環境アセスに基づき、ジュゴンの生息地で基地建設を強行することが、どれだけ米国の司法制度をも形骸化させているのかが分かります。ジュゴン訴訟が判決を待つ中、SDCCはこの点を米国政府に対して訴えています。

## ☆402条の適用について

### 原告側の主張

・402条が日本の天然記念物であるジュゴンに適用できることはすでに地裁で確定しており、それに基づいてジュゴン訴訟は行われてきた。適用について議論の余地はない。

### 国防総省の主張

・国家歴史保存法の対象としては、元来、建物などを含むplaces(場所)を想定していて、動物は対象としておらず、法には馴染まない。

### 裁判官から国防総省への質問

・402条をジュゴンに適用すると、どのような不利益が生じるのか。

### 国防総省の回答

・国家歴史保存法で求められる以上の調査、絶滅危惧種法や海洋哺乳類保護法で求められるレベルの調査を行う必要がでくる。これは政府機関にとって大きな負担となる。

## ☆「考慮の手続き」や「影響なし」の結論について

### 原告側の主張

・国防総省は独自に文化的影響の検証において、沖縄の16人にインタビューを行っているが、辺野古新基地に関する質問はしていない。また原告等や地域関係者とは協議をしていない。これでは考慮の手続きとは言えない。

・日本政府の環境アセスについては、国防総省の専門家が問題視しており、そのアセスをもとにジュゴンへの影響の有無を判断することは困難である。

### 裁判官からの原告側への質問

・国防総省は、ジュゴンの文化的影響について原告やその他の関連団体と協議を行ったとしても「新たな情報はでない」と主張している。協議を行っていたならどのような回答が予想できたのか。

### 原告側の回答

・エコツアーが出来なくなれば、ジュゴンの文化的意義を次世代に伝えることが難しくなることは宣誓書で示されている。また、協議を行わずに「新たな情報はない」と決めつける国防総省の判断は国家歴史保存法の主旨に反する。

### 国防総省の主張

・国防総省は、ジュゴンへの生物学的、かつ文化的影響について十分な調査を行った。

・402条には手続きの具体的内容についての記載はなく、手続きは国防総省の裁量に任されている。国防総省は日本政府との関係の中で可能なことはやってきた。

### 裁判官から国防総省への質問

・日本政府は、国防総省に対して沖縄の人々に聞きなさい／協議しなさい、と言わなかったのか。

### 国防総省の回答

・日本政府はそうは言わなかった。日本政府と沖縄の人々の意見が違うのは承知の事実です。

### 裁判官から国防総省への質問

・建設地にジュゴンは生息しているのか。

### 国防総省の回答

・日本政府の調査によれば、ジュゴンの活動は嘉陽が中心であり、嘉陽は建設地である辺野古から離れている。

### 原告側からの反論

・日本政府の環境アセスは、国防総省の専門家も問題視しており、それをもとにジュゴンへの影響を判断するのは困難である。

(国際担当 吉川秀樹)



沖 縄

# SACO合意を梃子にやりたい放題の米軍降下訓練



「伊江島はいつまで米軍飛行訓練による危険と被害にさらされ続けなければならないのか。」

3月7日8日に予定していたわびあいの里「第18回ゆすり合い助け合い学び合う会」全国学習会は「コロナ感染対策」のため残念ながら中止となったが、伊江島米軍基地の現状と被害実態の告発は重要なテーマの一つだった。

戦後、伊江島は米軍演習の最前線としての役割を負われ、実弾射撃や核模擬爆弾の投下訓練は村民の命をも奪ってきた。

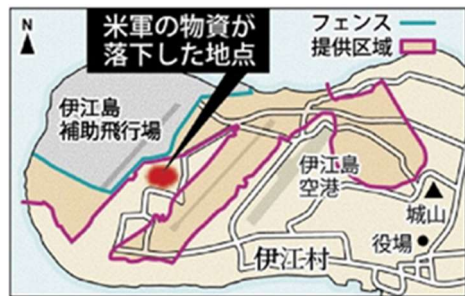
また、米軍のパラシュート降下や重量物投下訓練に使われ、フェンス外や農地への落下事故も頻発、昨年10月には2日連続でパラシュート降下訓練の米兵が大きくコースを外れ民間飛行場に降下するという事故が発生した。

本年1月には民間耕作地にパラシュート付きの物資を落下させるという事故も発生。伊江村議会は「極めて危険性が高い」として抗議決議、物資投下訓練の取りやめを求める意見書を全会一致で可決した。伊江村は2002年10月の米軍輸送機から閉じたままのパラシュートとポリタンクが民間地に落下した事故以来、物資の投下訓練は危険だとして認めておらず、地元の意向、住民の安全を無視した訓練が繰り返されてきたのだ。

また、2012年10月から開始されたMV22 オスプレイ演習開始以降騒音による畜産被害は顕著となり、さらに強襲揚

陸艦の模擬甲板着陸帯「LHDデッキ」拡張強行後の2018年12月からのF35B ステルス戦闘機の離着陸訓練は子牛や経産牛の死亡、死産、流産、異常分娩を頻発させている。

さらに、昨年3月には村・村民も全く知らない内に米海兵隊が最新鋭の高機動ロケット砲システム（HIMARS）を展開する訓練を行っていたことも明らかになり、また、ミサイル配備候補地として取りざたされるなど米の新戦闘構想「遠征前方基地作戦（EABO）」に基づく訓練と戦闘基地として伊江島は新たな段階に入ろうとしている。（中縄 高垣喜三）



提供区域外への落下地点（沖縄タイムス）

4面「SACO合意を梃子にやりたい放題の米軍降下訓練」関連図版（「提供区域外への落下地点」沖縄タイムス）

大 阪

## 「おとなプロジェクト」とは？「ごはん処おかえり」でジュゴンのお話会

大阪府豊中市の「ごはん処おかえり」は、みんなの居場所。子どもたちは無料でご飯を食べられるし、シングルマザーの悩みは頼りになるおかんが聞いてくれる。

「ジュゴンの話、しに来て」とおかんが呼んでくれたので1月25日に行ってきました。

当日、子どもたちのほか、お知らせを見てという方、お店のお手伝いの方、たまたま来たという方が、ジュゴンの現状や基地のこと、命どう宝についてのお話を熱心に聞いてくれました。子どもたちは、しっかりメモを取って、クイズには手をあげて答えてくれたし、「絶対辺野古に行く！」という方もいました。



お話会の後、お店でコーヒーを飲んでいると、子ども達が「見に来て！」と呼びに来ました。「ジュゴンを増やすには、海草増やしたらいいんやろ」と緑色のマジックで海草をいっぱい描いて、その上に折り紙ジュゴンを泳がせています。『おとなプロジェクト』と書いてあって、「おとなになったら、海草を増やすことをやる」と言うのです。じ〜ん。「それまでにジュゴンがいなくなったらどうしよう」と心配する子どもたち。この子たちが大人プロジェクトを開始できるように、辺野古の海を守っていかねば！（関西 山根富貴子）



※ごはん処おかえりでは、お米、日持ちのする根野菜、レトルト食品、お菓子等の支援を募集しています。行政の補助金などなしに自力でがんばっていらっしやいます。ご支援よろしくお願ひします。送り先は5610832 豊中市庄内西町3-10-26 ごはん処おかえり TEL 080-5319-1368 (上野)

# 首都圏 「ホープスポット (希望の海)」に認定された辺野古・大浦湾

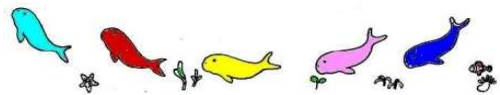
2月5日、辺野古・大浦湾「ホープスポット」認定記念セミナー & 映画「ZAN」上映会がピースポートセンターとうきょう（高田馬場）で開催されました。

映画「ZAN～ジュゴンが姿を見せるとき」上映後、日本自然保護協会の安部真理子さんからホープスポットに認定された経緯が説明されました。申請のポイントには、

- 1、生物多様性が豊かで、特にサンゴ群集がある。新種・日本初記録種などが最近もある。最大規模の海草藻場が広がっている。サンゴの海では珍しい深さ60mある。絶滅危惧種のジュゴンが棲んでいる。5334種の海の生物が生息している。
- 2、サンゴ礁の海やジュゴンに関する文化の豊かさで、地域の行事、伝統文化、満月祭りが暮らしの中で行われている。
- 3、地域のコミットメントで、わんさか大浦パーク、じゅごんの里、すなっくすナフキンの展示スペース、貝と言葉のミュージアムがある。

以上のポイントで、日本自然保護協会、ジュゴン保護キャンペーンセンター、ラムサールネットワーク日本など11団体で申請をしました。生物多様性や地開の豊かさ、その豊かな環境で育まれてきた文化や暮らし環境を基地建設から守ろうとする多くの人々の取り組みが世界的に認められた結果、2019年10月27日に辺野古・大浦湾沿岸一帯が日本初のホープスポット(希望の海)に認定されました。

日本初の認定で、世界的にも価値が認められた辺野古・大浦湾が、今でも基地建設による環境破壊が続いています。辺野古の生き物たちを守るために土砂投入を阻止し、新基地建設を断念させるために、抗議行動を続けていきましょう。皆さん頑張りましょう。（首都圏 矢敷克子）



SDCC からも発言しました



日本自然保護協会 安部真理子さんから認定の経緯が報告されました

## ☆ IUCN 第7回世界自然保護会議に向けて ☆

国際自然保護連合（IUCN）第7回世界自然保護会議は、6月11日～19日フランス・マルセイユで開催されます。

前回、2016年9月のIUCN第6回世界自然保護会議は、「島しょ生態系への外来種の侵入経路管理強化」を求める決議を採択しました。沖縄ジュゴン、ノグチゲラ、ヤンバルクイナの保全を求める2000年、2004年、2008年IUCN勧告・決議につづく4度目の決議でした。辺野古への土砂投入を目前に控え、沖縄のジュゴン保護を世界にアピールしました。

2月3日米国サンフランシスコ第9回巡回裁判所で、ジュゴン訴訟控訴審の公開審理が行われました。2018年8月サンフランシスコ地方裁判所での敗訴を受けて原告が控訴し、2019年

1月から控訴審が行われてきました。IUCN までに判決が出るかわかりませんが、「沖縄のジュゴン保護」「米国でのジュゴン訴訟」について訴えていきたいと思っています。

今回 SDCC からは、私が代表派遣という形で参加します。IUCN 日本委員会のブースを拠点に「沖縄のジュゴン保護英文署名」を集めます。不慣れな英語ですが、ポスター & アピールボードなど目に見える工夫をして頑張ります。（首都圏 三村昭彦）



報告

# フィリピンに行ってきました！ ～ ジュゴンでつながる世界 ～



ジュゴンの保護区があるし、米軍基地を返還させたし、何かと気になる国だったので、お誘いを受けてAKAY JAPAN主催のピースキャンプに参加して、2/8～11にフィリピンに行ってきました。

「じゅごんのお話」をすることになり、パワポを日本語から英語、そしてタガログ語へと訳してもらい、英語版の署名を作るなど準備を進めました。「健康・平和・自然環境」がテーマの保護者向けセミナーと子ども向けに2回お話をさせて頂き、初めての通訳付きにあたらした場面もありましたが、貴重な体験になりました。

事前に資料を送っていたので、ABAKADA 代表のポール・ガランさんが熱心にスタッフや保護者の方々にレクチャーをして下さっていて、当日は「アジアの子どもと家族の平和なコミュニティを構築するために、フィリピンと日本の連帯の表れとして、ジュゴンを救い、辺野古米軍基地の建設を止めるための署名に参加しようと皆に伝えました」と挨拶されました。私が一番伝えなかったのは「命どう宝」の思いでした。ポールさんは「平和と正義と愛でつながりましょう」と言われ、思いは同じだと感じていました。

お話の後、保護者代表のお父さんがもうすでに集めて下さっていた署名を手渡してくれました。「ほら、こんなに集めたよ！」と445筆。防衛大臣宛の大騒ぎハガキを呼びかけると、その場で61枚集まりました。署名とハガキは有効に使います。子どもたちは歌や踊りを披露してくれ、それは癒される時間でした。

厳しい現実もみました。リバーサイド（貧困地域）やダンブサイト（ゴミ集積所）。これはスモークマウンテンと言えばピンとくるでしょうか、子どもたちが裸足でごみ収集を

していたところでした。隣り合わせに豪邸が、川の向こうには高層ビルがあり、それらはゲートや柵で分断されていました。グローバルな市場経済に巻き込まれて、格差はますます広がるばかりです。貧困が問題なんじゃない、貧困をつくりだす社会（世界）が問題なのにと眺めていました。

フィリピンにはジュゴンの保護区があるけれど、ジュゴンの姿は見れなくなっているようで、原因は巨大な石炭火力発電所の温排水で海草が減ったことやバナナのプランテーションと言われています。これらに日本は無関係ではないと思います。フィリピン、日本、そして、思いを同じくする世界中の人々とつながって、一步一步世界を良い方向へ変えて行けたら。  
(関西 池側恵美子)

※AKAY とはアバカダカユマンガ地域発展基金 (AKCDF) の愛称で、タガログ語で、「ともにや手をつなぐ」という意味。「貧しさのない平和な世界を」と設立された教育施設 ABAKADA では、就学前の子どもたち120名が学んでいます。



お父さんから445筆の署名！

## 本の紹介

### 「ぼくはイエローで ホワイトで、ちょっとブルー」

ブレイディみかこ著 (発行:新潮社)

ちょっと話題の本です。書名と紹介文に興味を魅かれて読んでみたら、面白い！

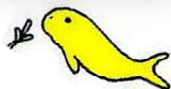
イギリスの地方の街ブライトンにある元底辺中学校、そこに通う息子が日々直面するあれこれを社会問題として捉え綴られたノンフィクションです。EU離脱、移民と分断が進む英国社会の縮図ともいえる元底辺中学校の日常には、レイシズム、貧困、格差、差別、多様性、LGBTQと様々な問題が存在する。

「万国の万引きたちよ、団結せよ」「アイデンティティって1つ?」「エンパシーって、自分で

誰かの靴を履いてみること」「うんざりするほど大変だし、めんどくさいけど、多様性は無知を減らす」ちょっと刺激的。笑ったり、時にうるうるし、うーんと深く考え、自分はほんとうにできているだろうかと向き合いながら読みました。

なんだかもやもやすっきりしない世の中だけど、新しい感性で悩み考え乗り越えていく子どもたちのパワーに元気をもらい、頭を柔軟にしてもらい、やっばできることがんばろうと思える本です。

(関西 池側恵美子)



「大」の哲学 - ~こらむ・コラム~

コロナ騒ぎを宗教的に見ると、人類が宗教に反し形骸化してきたことへの神の怒りに思えてならない。古代より人類は、時として起こる流行病で幾多の命を失った歴史を持つ。そして、その度に神に救いを求め、教えを守ることが神に誓っていたようである。

例えばその証にキリスト教徒の行う「過越の祭」があり、沖縄には「島クサラシ」の慣習がある。戦後しばらくは平安座島にもそれがあった。家の門に縄を張り、殺した山羊や豚の血を縄と門に塗って、晩は肉料理をご馳走する祭であった。しかし「島を腐らす」とは何なのか、全く理解出来ずにいた。祖父から「夜の間に神の怒りが島の上を通過して悪い人間を残さず殺す。それを逃れるための祭である」と聞かされてはいたが、まさか「島クサラシ」が「島を越し走らす」の意味であったとは、子供には考えの及ばないことであった。

では大人になって宗教を理解出来たかということ、そうではない。何にも分からぬまま、島の神人を務めていた。そもそも、京都市周辺の山々で行われる盆の送り火「大

文字焼」が、何故「大」なのか分からなかった。それに「おとな」は何故「大人」と書くのか分からなかった。「大乘仏教」は何故「大乗か。「大学」とは何なのか？ 何故、琉球は「大琉球国」と讃えられ、琉球を処分併合した明治国家が何故「大日本帝国」を称したか？ 私自身、甲骨文字の「大」がジュゴンを表した字であると理解するまでは、確かめようのない謎であった。

今でこそ「天」も「大」が「一」、即ち、宇宙を支えた字であることに気づき、字に込められた壮大な哲学に驚くが。しかも「大」はジュゴン信仰の絶対平和を表す字でもあった。ということは、天皇はジュゴンを信仰し、国民の平和を守るよう努めなければならないということである。ところが令和になっても一向にジュゴンを祀る気配がない。果たして神はこのデタラメな日本国家の宗教の形骸化を許すであろうか？ 八咫瓊勾玉（やさかこのまかたま）の祟りが心配である。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

㊦んさか通信★ジュゴンの㊦

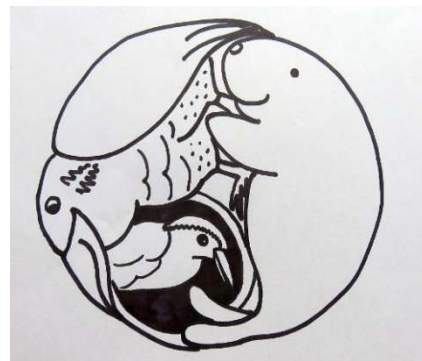
Zoo is the peace

JNN 企画大賞（注）に選ばれたドキュメント番組の終わりにあったメッセージ「広島安佐動物公園の開園のあいさつ」をご紹介します。

— 動物園は平和のシンボルであります。（～中省略～）

人間はその発達した知恵によってあらゆる生物をしのいで地球上を制する力を得ました。

しかしその人間は余りにも我がままな生き方をしようとして、自分たちだけ良ければよいようなことをしたり、隣



り合った者たちが争いを起したりするようになりました。その結果はいろいろな公害や戦争による荒廃として人間自身が苦しまなければならぬようになりました。

そして今、人間は自身の知恵で公害を無くし平和を実現する唯一の方法は、あらゆる生き物を含む自然を大切にしなければならぬことを再発見しています。

動物園はたくさんの野生動物が健康に生活する姿を通じて生命の尊さを知ることこそ真の平和を得る方法であると主張します。 —

（沖縄 小平裕美）



（注）JNN ネットワーク協議会（TBS テレビ系）の企画で、JNN ネットワーク各社が共同制作。

# INFORMATION

## <首都圏>

## 《 今後のスケジュール 》

## <関西>

- ・4/17 (金) 政府交渉、院内集会(参議院会館101)13:30~
- ・4/18 (土) 4/19 (日) アースデイ東京 代々木公園
- ・4/29 (水・休) 「4.29沖縄に連帯するつどい」  
13時半~16時 参加費:800円  
大田区消費者生活センター大集会室 (JR 蒲田駅東口徒歩5分)  
講演:奥間政則さん(沖縄ドローンプロジェクト)  
主催:ZENKO 南部 協賛:ジュゴン保護キャンペーンセンター、  
平和・環境・人権しながわ

- ・じゅごん茶話会 3/26(木)4/23(木) 14時~ 関西事務所
- ・4/26(日)地球永住計画 13時半-16時 ドーンセンター  
対談 牧志治さん×関野吉晴さん 前売り2500円 学生1500円
- ・アースデイ神戸 5/4(月休)11時-17時 5(火休)10時-16時  
みなとの森公園(神戸三宮)
- ・5/15(金)北上田毅さん講演会 18時半 PLP会館5階 500円
- ・5/17(日)海勢頭豊さんライブ 13時半~ 前売り1500円  
@上牧本澄寺(高槻) 11時-13時境内でアトラクション

## 「辺野古・大浦湾 ホープスポット」 ~希望の海のサポーターになろう!~

2019年10月、辺野古・大浦湾一帯が日本初の「ホープスポット」(希望の海)に認定されました! 署名をして、日本初のホープスポットを支えるサポーターになってください!

詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.nacsj.or.jp/2019/10/17616/>

※署名の締め切りは当初の2月末から延長されています

音楽家の坂本龍一  
さんも応援して  
います!



今年はジュゴン訴訟が結審して今後どうなるのか注目されています。6月には4年に一度のIUCN世界自然保護会議がフランスのマルセイユで行われます。また辺野古・大浦湾は日本で初めてホープスポットに認定されました。このような機会を逃さずジュゴン保護を訴えるためにポスターを制作してアピール出来たらと考えました。ポスターはA2判サイズ。いろんな場所に貼って盛り上げていきませんか? 送料はご負担ください。カンパも歓迎! 希望者はSDCCまでご連絡をお願いいたします。



### Editor's Note

コロナ特措法が国会を通過しました。安倍首相は政府の対策会議には、最初だけ参加しあとは料亭へ「懇談」にまっしぐら。国民の生命・健康には無関心で、権力の維持強化には執念を燃やしています。そして辺野古の工事はまったく「自粛」しません。一刻もはやく退陣させましょう。

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.109 2020年3月24日発行  
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)  
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1  
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377  
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)  
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号京橋ベース  
(旧野口ビル) 302 TEL/FAX 06-6353-0514

### 会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:  
加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター  
口座番号 00140-9-660199  
他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店  
口座番号 普通 8159084

\*ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします\*  
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!